



二子古墳  
Futago Tumulus

全長約68mの前方後方墳。周辺には20数基の古墳があり、西三河で最古級の大型古墳であると考えられています。



人面文壺形土器  
Jar-shaped earthen vessel with a human face pattern

『魏志倭人伝』に記録されている「鰐面文身」(顔や体に入墨をしている)が最もリアルに表現されています。

## 自然との調和を図りながら 刻んできた歴史

安城の歴史は原始の時代にもその様子を見ることができ、縄文時代から人が集落をつくり、生活を営んでいたことがわかっています。弥生時代になると稲作が行われるようになり、ムラが生まれ、西三河で最古級の大型古墳である二子古墳が造られました。鎌倉から室町時代になると、三河一向一揆の拠点となった本證寺や、戦国時代の松平家の居城・安城城が建てられ、歴史に名を刻んできました。明治になると壮大な用水計画が起こり、安城は肥沃の地へと生まれ変わります。大正末期から昭和の初めには、農業先進地として発展しました。

### Anjo has made its history in harmonization with the natural environment

Anjo has a long history. It is known that people have made villages and lived in Anjo since the Jomon Period. The city has Futago Tumulus and other historic sites as well as Honshoji Temple, which was established in the Kamakura Period, and the Anjo Castle Site from the Sengoku Period. In modern eras, the city was developed into an advanced agricultural area through the Meiji Canal Project.



安祥城址  
Ansho Castle Site

戦国時代には松平氏の居城となり、織田氏との間で数度の攻防戦が繰り返されました。



大岡白山神社  
Ooka Hakusan Shrine

市内で最古の建造物。代々松平氏の崇敬を受け、永禄10年(1567)には徳川家康によって再建されました。

丈山苑  
Jozan-en

石川丈山が建てた京都一乗寺の詩仙堂を再現し、丈山の世界を伝える空間として開苑。庭園には丈山の漢詩碑を配しています。

## 歴史文化

# 安城の軌跡

Anjo:  
Its History and Culture

本證寺  
Honshoji Temple

三河三か寺として知られ、三河一向一揆の際に徳川家康と敵対。境内は堀と土塁を巡らした遺構が見られます。